

『熊本城復旧基本計画』(平成30年3月策定)

**設定区分A = 着手優先度:高**

- ・国指定重要文化財建造物及び早期公開を目指すエリアの主要復元建造物等
- ・上記建造物の基礎となる石垣及び一体的な復旧を要する石垣

**被害:建物・石垣ともに崩壊**

東十八間櫓・北十八間櫓・五間櫓・不開門

⇒建物体・部材回収、崩落石回収まで完了して保存中

**被害:建物の倒壊と石垣の変状**

宇土櫓(続櫓)⇒石垣測量、建物体・部材回収まで完了して保存中

**被害:建物のみ倒壊**

長堀⇒石垣測量完了→石垣修理なし・建物復旧工事開始

**被害:建物倒壊せず毀損・石垣部分毀損**

宇土櫓(五階櫓)⇒石垣測量まで完了

平成31年度から石垣解体を含めた復旧方針検討予定

※宇土櫓(続櫓)も立地・構造上連続性があることから同時検討

監物櫓⇒石垣測量、建物体・部材回収まで完了

平成31年度から石垣解体修理を含む部分修理を検討予定

平櫓⇒石垣測量完了。平成31年度、建物体・部材回収予定

平成31年度から部分的な石垣解体修理を検討予定

源之進櫓・四間櫓・十四間櫓・七間櫓・田子櫓

石垣測量まで完了。

⇒石垣変状が少ないため現状では石垣修理の検討をせず、平成31年度に建物耐震診断予定

**今後の主な工程**

- ・平成31年5月：設計委託(建物・石垣)
- ・平成31年5月以降：監物櫓・平櫓石垣修理範囲の検討予定
- ・平成31年夏頃：石垣構造実験・補強案実験